

宮田文子 幼名 隨筆家。明治二十一年七月二十一日愛媛縣生れ、昭和四十一年八月二十五日没（八十八―九六）。舊姓中平一武林、本名文。筆名なごここ、なごこ子、中平文、武林文子、FUMIKO TAKEBAYASHI 等。大正九年小説家武林無愁庵と結婚し昭和九年離婚、翌年貿易商宮田耕二と結婚。

著書 『婦人記者 讀む自見え廻り』（なごこ子名、大正五年五月二十日自井書院）、『萬龍未來記』（中平文子名、合著・野元北馬編、大正五年十一月一日須涼啓興社）、『ゲシエタポー世紀の野獸と闘つた猶太人秘話』（武林文子名、昭和二十五年十月一日融燈社）、『スカラズーツタンカーモンの宝庫』（昭和二十五年四月二十日中央公論社）、『十七歳の青春』（昭和二十七年二月二十日朝日新聞社）、『刺青と野礼と食人種の国―黒い秘境ユング』（昭和四十一年二月十日講談社）、『わだこの白書―幸福な妖婦の告白』（昭和四十一年五月二十日講談社）等。

